

大学入試の仕組みと今日から頑張る受験勉強

- 日 時 令和7年5月7日(水) 7限
- 対 象 3年生全員
- 講 師 河合塾中部近畿営業部 川又 柁貴氏



●講演の概要

(1) 受験の概要

- 昨年度は（新課程初年度ということもあり）平均点UP → 今年度は難化の可能性あり。
- 私立大学も一般入試での合格がしやすくなっているが、油断は禁物。

(2) 大学の選び方

- 偏差値だけで見るのではなく「**入口**（難易度、受験科目、定員など）」「（学修の）**中身**」「**出口**（就職状況、取得できる資格）」の3点をていねいに調べること。
- 学習時間外での情報収集を怠らない。例えば同じ学部系統でも、その大学の色や強みとして
いる分野がある。これらを友人同士で共有し合うと、いっそうよい。

(3) 今日からの勉強方法

- 日々の授業の積み重ね**を大切にする。ただし、宿題や予習・復習だけではダメ。学校で提示された課題+αに取り組む。
- 苦手科目の克服**に努めると同時に、**得意科目**が作れるとよい。
- 学習効率も大切だが、特に夏が終わるまでは**絶対量の確保**を意識し、**教科書レベルの徹底**を図る。英単語等の暗記においては、単語帳を見る頻度を増やして。
- 共通テストに向けての日々の学習では、「**解答時間の制限**」と「**資料集や図表**の積極的な活用」の2点を特に意識する。
- 模擬試験を一つのバロメーターとして捉える。各模試で何点伸ばせばよいかを定め、それを目標として取り組むとよい。

●生徒の感想（一部抜粋）

- 大学に入って終わりではないので、そこで何を学ぶのかをはっきりと定めて大学を選びたい。
- 共通本番まであと250日ほどと思うと焦りを感じる。自分は基礎がしっかりと固まっていないので、今後もっと演習量を増やしていきたい。
- 前よりも勉強に意欲をもって取り組んでいるが、模試で数字として結果になかなか出てこない。それでも、自分の苦手なところときちんと向き合って、できないことから逃げずに一つ一つ丁寧に解ける問題を増やしていきたい。

現役生は最後まで成績が伸び続けます。この瞬間を信じて、今日から学習に対する**意識と行動**を変え、頑張り抜く力を身に付けていきましょう。

そして、困ったこと、分からないことなどがあれば、すぐに教員に相談してください。